



かたつむり大学の遺産

「継続の中にある力②」

「継続の中にある力」 佐藤先生の講演でというテーマを考えた「遠藤周作の世界」を時、先々週の「祈りの聴いた時、東京ではな人たち」と共に書こうと思つたのは「かたつむり大学」についてである。

「KRYかたつむり大学」という近代日本文学の評論の文学講座を実施しようと考えたのは、梅光女学院大学の佐藤泰正先生という日本を代表する近代文学評論を得意とする先生に出逢ったからだ。

「KRYかたつむり大学」という近代日本文学の評論の文学講座を実施しようと考えたのは、梅光女学院大学の佐藤泰正先生という日本を代表する近代文学評論を得意とする先生に出逢ったからだ。



ありし日の佐藤泰正先生

「継続の中にある力」は色々あるだろう。この継続こそが少しずつ私に根気をうえつけてくれたように思える。「かたつむり大学の遺産」と言った方がよいかもしれない。亡くなられたが、佐藤泰正先生は、近代日本文学評論の第一人者で「佐藤泰正全集」なども出

た。「継続の中にある力」は色々あるだろう。この継続こそが少しずつ私に根気をうえつけてくれたように思える。「かたつむり大学の遺産」と言った方がよいかもしれない。亡くなられたが、佐藤泰正先生は、近代日本文学評論の第一人者で「佐藤泰正全集」なども出

回を迎える平成14年4月まで実施出来たのは、私にとってテーマの「継続の中にある力」であった。ラジオ・テレビ番組の低俗化が進む中で、大学の授業でもないのに人が集まるかを疑問視した人もある。しかし、だからこそ本物志向をめざすことが大切で、それを求めている人がおられるに違いないと思つた。



100回も続いたかたつむり大学

今、佐藤泰正先生を思い出す時、あくまでも誠実に、謙虚であつた。これは文学のみならず、人間の生き方として大切なことだ。先日、芸能人ではなく、佐藤先生の追っかけがいたことを思い出した。佐藤先生が宮沢賢治賞を受賞された時、何と花巻の会場まで行かれた婦人がいた。彼女は熱心なかたつむり大学の受講生でもあった。

「祈りの人たち」とは多少異なるが、自分から求め続けられることを私も少しでも学びたいと思う昨今である。そして亡くなられた佐藤泰正先生に心から御礼申し上げたい。